

授業科目名	日本文化と地域 A	担当教員	傳 建良 夏 世明
必修の区分	選択		
単位数	1 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1 年 第 2 クォーター		
講義内容	この講義では、但馬地域及び近隣地域をフィールドとして、日本文化や地域社会への理解を深めることを目的とする。受講者は、学内外の施設で見学や体験を通じて、日本語学習を軸としたワークショップやレクチャー、発表活動に取り込みむ。これにより、異文化理解の深化、地域理解の向上、そしてコミュニケーション力の強化を図る。集中的にタスク活動を実施することで、実践的な日本語運用能力を向上させるとともに、地域社会との協働の在り方を体験する機会を提供する。		
到達目標	・ペアやグループでの活動を通じて、アイデアを出し合い議論を進める方法を学び、実践的な日本語運用能力を向上させる。 ・日本文化および地域社会についての知識を習得する。 ・但馬地域及びその近隣地域を舞台に、日本語を使った実践的なコミュニケーション能力を養う。 ・地域住民や学外の参加者との交流を行うことで、異文化理解を深める。 ・地域社会における課題や文化的価値を体感し、留学生としての視点でそれらを発信する力を身につける。		
授業計画	本プログラムは、学内外の施設を利用し、宿泊を伴う 3 日間で実施される、日本文化と地域に関する短期集中プログラムである。 プログラム開始前には、受講者向けのガイダンスを行い、終了後にはレポートなど課題提出が求められる。また、プログラムへの参加度も評価の対象となる。 (1 日目) ・オリエンテーション ・グループ決定 ・ワークショップ (全体、グループ) (2 日目) ・ゲストスピーカーによるレクチャー① 質疑応答 ・プロジェクト① ・グループごとの発表① (3 日目) ・ゲストスピーカーによるレクチャー② 質疑応答 ・プロジェクト②		

	・グループでの発表②
事前・事後 学習	実施前に指示する
テキスト	必要資料は実施前、あるいは講義中に配布する
参考文献	適宜紹介する
成績評価 の 基 準	プログラムへの参加度・課題達成度（70％）合宿後のレポート（30％）
履修上の注意 履修要件	・履修生には、プログラムのガイダンスから終了後のレポート作成までをやり遂げる強い意欲と、学内外の施設で行われる研修に適応し協力できる協調性が求められる。 ・単位取得のための最低出席率要件あり
実践的教育	該当しない。
備考欄	・留学生を対象とした講義 ・最低開講人数 2 名